

World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ



世界の窓

Vol.47

アラブ首長国連邦



世界の国々や地域を紹介するコーナー「ワールズ・ウィンドウ」!
案内役は、国際交流員のアダム・ラピエールさんとジェニファー・ステイントンさんです。

Hello!ジェニファーです。
今回は石油産出国であり、世界でもっとも裕福な国の1つアラブ首長国連邦の都市ドバイについて紹介します。



ドバイはもともと数百年前の漁村から大出世を遂げてきました。実際に、わずか15年前はドバイの大部分は砂漠にすぎませんでした。現在はアラブ首長国連邦の一番大きな都市で、世界でもっとも裕福な都市の一つです。

この大都市の砂漠から成長した速さを考えるとハッと息をのみます。毎日毎日、平均800人の人々が家を建てるためドバイに引越してきます。しかし、ドバイは人口が増加するだけでなく、土地も拡大しています。土地は砂漠や海そして空にも広がっています。ドバイは巨大な建設現場のようで、建物があらゆる所に新築されています。

砂漠への拡大だけでは満足せず、ドバイは海の埋め立ても始めました。現在、埋め立て地から造られた多数の人工島もあります。例えばその中にある、パーム・アイランド・ジュメイラという島は上空から見ると巨大なヤシの木のように造られています。これからもう2つのヤシの木の形をした人工島が造られる予定で、核となる島は前のより大きく造ります。しかし、これらの新しい島々の中で一番おもしろいのは、きっと「ザ・ワールド」でしょう。「ザ・ワールド」は本物の島々で造られた巨大な世界地図です。そこは現在も建設中で、一度完成しましたが、例えば会社が日本またはイギリスなどの好きな島を買ってそれからその島に建物を建設することができます。



空に向かっての成長に関しては、2007

年7月からドバイはまた世界一高いビルの所在地にもなりました。「ドバイの塔」を意味する「ブルジュドバイ」はまだ建設中で、さらに最大100メートル高くなるといわれています。以前世界一高いビルとされた「台北101」をすでに数メートル超えています。もし近い将来にその高さを越えるとしたら、それはドバイの別のビルに違いないでしょう。



ドバイに遊びに行くと、**15年前**にはほとんど存在しなかった都市を見ることは魅力的で刺激的な経験となるに違いありません。もし無限にお金があれば、宿泊施設の選択は印象的です。高級ホテルの選択肢は無限にあり、ドバイ全般に急速に広がっています。「ブルジュ・アル・アラブ」に1週間宿泊してみるのはいかがでしょうか。このドバイの海岸沖にある自分の人工島に建設された唯一のホテルは船の帆の形をしていてとてもおもしろい建物です。宿泊代は1泊12万円から330万円までと世界でもっとも高価なホテルだと思われま



す。ドバイはべらぼうな値段や歴史的な名所が少ないため、万人向きではないかもしれませんが、おもしろい都市だということは間違いありません。わたしは15年後のドバイはどうなるのか思いをめぐらすことしかできません。



15年前



現在